



ナンテン

地中海沿岸が原産で日本には平安末期に中国から渡来したといわれています。スイセンという名は中国での呼び名「水仙」を音読みにしたものです。水辺に育ち仙人のように寿命が長く清らかという意味で名付けられました。厳しい冬の寒さに負けず他に花がほとんどない時期に花を咲かせます。雪の中でも花を咲かせるほど丈夫で「雪中花」という名があるほどです。水仙の日本三大群生地には数えられるのは、淡路島・越前海岸・南房総鋸南町で訪ねてみたい場所ですね。

水仙



スイセン

水仙の花と雪
今朝の雪

加賀千代女

今、ふれあいの村では・・・

朝晩の寒さがより一層強くなり、朝方には地表近くの植物の葉にうっすらと霜が降りている日も見かけるようになりました。記事を書いている頃には風が強くなり、木々に残っている枯れ葉をどんどん吹き飛ばしています。◆サザンカがピンク色の花を一面に咲かせ、見頃を迎えています。広い範囲で分布していますが触れると皮膚炎を起こすチャドクガが葉を好んで食べる樹木です。冬でも葉の裏に卵がある場合があるので注意が必要です。◆クロガネモチが赤い小さな実を無数に実らせていました。しばらく観察しているとヒヨドリやメジロが交替しながら実をついばんでいました。冬場の鳥たちの貴重な食料になっているようです。◆コテージの裏手近くにシカの足跡を見つけました。小さな足跡もあり、親子のようです。様子を伺いに来たのでしょうか。夜に近くの農道で立派な角をもった牡鹿に出会ったこともあり。雄々しく歩くその姿にしばらく見とれてしまいました。



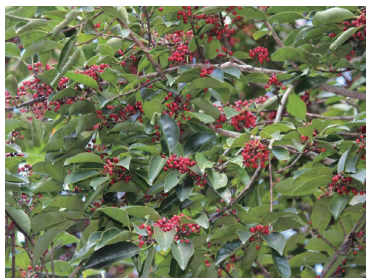
サザンカ



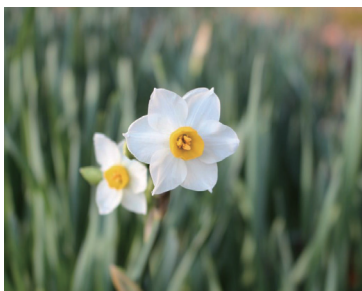
モミジ



ヤツデ



クロガネモチ



スイセン



シカの足跡

一月六日〜十日

芹は田んぼや川べり、湿地に自生し一か所に「せり」（競）合って生えることから名前がつけられた日本原産の野草であり、香りがよく、整腸作用・免疫力をあげる・体温を上げて冷えをとるなど様々な効果がある春の七草にとっては欠かせない存在です。

日本には元々年の初めに野に出て身近に自生する若菜を摘んで食べる「若菜摘み」の風習がありました。七草粥にして味わい一年の邪気を払うとされています。

春先に若菜を食することは春が巡るように若返りのエネルギーを体内に取り入れることとも考えられたのでしょうか。



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

木々の葉も落ち、澄みきった空が一段と広く感じる季節となりました。葉が落ちた事で鳥たちの活動の様子も良く見える様になりました。広場を歩いていると、メジロが群れをなして忙しい様子で木から木へ飛び移っています。目の周囲の白色部が可愛らしく野鳥観察でもお馴染みの鳥です。込み合っていることや物事が多くあることを意味する慣用句として「目白押し」がありますがメジロ同士が押し合いながらぴたりと枝に並ぶ様子が由来となっているそうです。ケヤキの枝の先には使い終わったメジロの巣も見ることができました。葉が落ちた冬の自然観察ならではの発見です。上空にはトビがゆっくりと旋回しながら飛んでいました。日本では身近な猛禽類として知られておりネズミやヘビ等の小動物を捕食します。木立の中にはキジバトが休んでいました。名前の由来はキジの雌に体色が似ていることが由来とされています。キジバトは規則正しいリズムで活動しており、朝起きると同じ時間、同じ場所で鳴きます。帰巢本能も優れており、一度通った場所の山や建物などを目印として記憶することができます。別の木々にはヤマガラがいました。オレンジ色のお腹が特徴的で公園や森で出会う確率が高いです。冬場の天気の良い日に野鳥観察などいかがでしょうか。



メジロの巣



メジロ



トビ



キジバト



コゲラ



ヒヨドリ



テйкаカズラ



カリン



ヤマガラ

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「あしがらアドベンチャーキャンプ」のご案内

空気の澄んだ冬の森での高学年キャンプです。ふれあいの村を冒険し、たき火を囲んで暖を取ったり炊事をしたり、星空を眺めながらゆったりするなど冬の森を遊び尽くします！

実施日 2月17日(土)～18日(日) 【1泊2日】

会場 足柄ふれあいの村

対象 小学4年生～6年生

定員 35人

参加費 7,200円

申込期間 令和5年12月5日(火)～令和6年1月12日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日：2月4日(日)

10:00～12:00 《自然観察会》動物の食べあとやフンなど、痕跡を探そう(参加費無料)

13:00～15:00 《クラフト教室》パイプチャーム作り(参加費：300円)

※午後の部は事前申込制です。定員を超えた場合は抽選となります。
※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。
※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話：0465-72-2010 FAX：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ(連携協力：関東学院大学)

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

URL：<http://www.ashigara-fureai.com/>